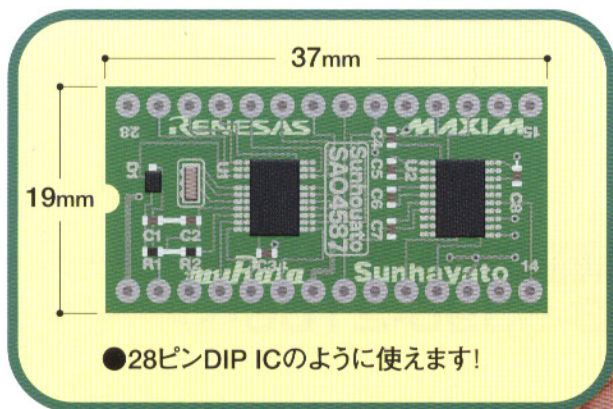


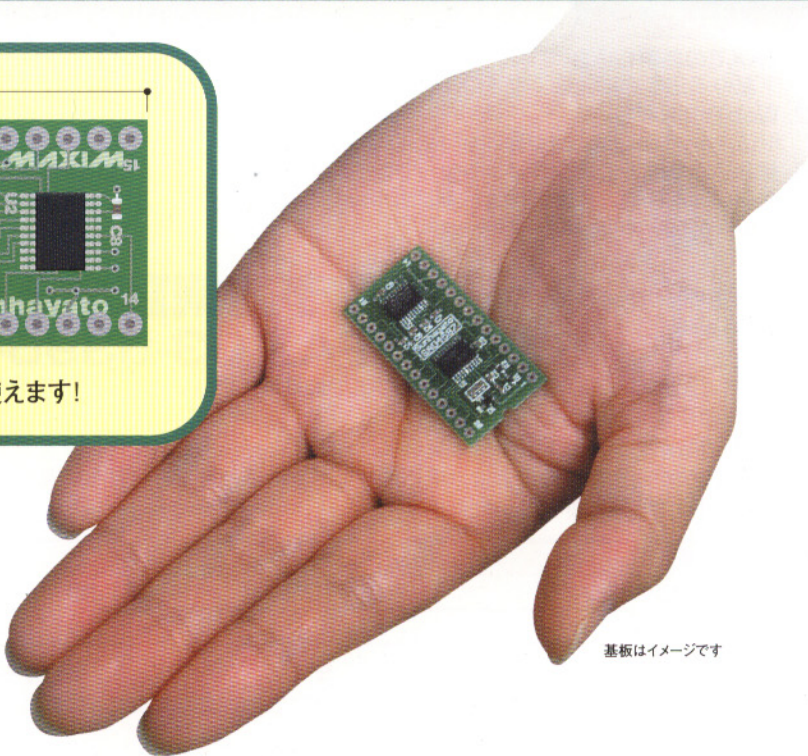
# トランジスタ技術 2005年4月号に R8Cマイコン基板が付きます。

2005年3月10日発売 (CD-ROM付き) 予価1,000円 (税込み)



●28ピンDIP ICのように使えます!

トランジスタ技術2005年4月号に、少ピンで、かつC言語でプログラム開発できるワンチップ・マイコンR8C/15を搭載した基板を付録します。EIA-232トランシーバも搭載します。

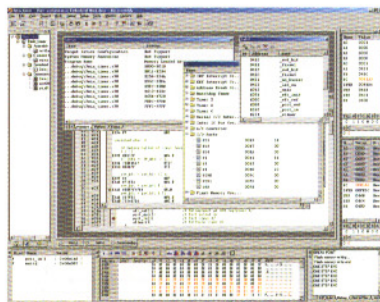


基板はイメージです

19mm×37mmととてもコンパクトで、まさに28ピンのDIP ICのように扱えます。もちろん、開発ツールもCD-ROMで提供します。今回は、使用期限のない評価板を収録する予定です。この開発ツールを使えば、コンパイル、デバッグが可能です。本誌では、このマイコン基板の使い方を完全マスタするために、4月号、5月号の連続特集を企画しています。マイコンの基礎から応用まで、全180頁の充実した解説記事を展開する予定です。また特集終了後、この基板を使った連載記事も展開する予定です。1年後にはマイコン活用のテクニックが確実に身に付きます。乞うご期待!

## 付録マイコン基板に搭載される主な部品

- 16ビット・ワンチップ・マイコン R5F21154SP (ルネサス テクノロジ)  
M16Cコア, 16ビット乗算器, オンチップ・オシレータ,  
10ビットA-Dコンバータ × 4チャンネル, タイマ各種,  
ROM16Kバイト, RAM1024バイト, 20ピン
- 低消費電力EIA-232トランシーバ MAX3380ECUP (マキシム)
- 20MHz発振子 CSTCE20M0V53-R0 (村田製作所)
- リセット回路



開発ツールのデバッグ画面(イメージ)